

従業員、お客様、 地域社会のために できることを実践

「アバナードでは、従業員、お客様、地域社会に真のヒューマンインパクトをもたらすことを目的として、取り組みのすべてに責任をもって実践しています。テクノロジーが変革を迎える今、これがかつてないほど重要となっています。

非営利団体から世界で活躍する企業まで、あらゆる組織がAIの「変革の力」を取り入れ、より良い未来の創造を目指しています。変革を進めていくには、責任、信頼、透明性を中心に据えて向き合っていかなければなりません。

2023年に前進できたところを誇り思いつつに、今後の取り組みの原動力としていきたいと思えます。」



Pamela Maynard

アバナード
最高経営責任者

目次

「責任あるビジネス」担当者メッセージ	4	従業員、お客様、パートナーが1つになって、 サステナブルな世界を創造	8	若者、過小評価されてきた地域、地球環境に、 企業活動でサステナブルなインパクトを	15	倫理、法令遵守、ガバナンスへの取り組み	27
責任ある事業運営へのアプローチ	5					AIとデジタル倫理の責任ある指導	28
2023年 ESG スコアカード	6	自らをお手本に：サステナブルな環境への取り組み	9	2023年 アバナード 企業市民活動の実績	16	「責任あるビジネス」2024年以降の取り組み	29
SSE リニューアブルズの「じぶんごと」は サステナブルなイノベーションの促進	7	お客様にとっての よりスマートな サステナビリティへのアクションを今すぐにサポート	10	世界中の過小評価されてきた若者の成長と 革新的なアイデアを応援	17	ESG スコアカード 2024	30
		サステナビリティの取り組みにおけるお客様の事例		パートナーとの協働で影響力アップへ	18		
		Anglian Water の「じぶんごと」はデジタルツインと AI テクノロジーによるきれいな水の提供	11	未来のテック業界をリードする 白人以外の女性を支援	19		
		デューク・エナジーは、アクセンチュア、 アバナードとともに、先駆的なメタン排出 プログラムを開発	12	真のヒューマン インパクトに向けて 活躍する従業員	20		
		デジタル技術への投資を最適化して サステナビリティの目標を推進	13	みんなの協力で世界をより良く	21		
		アバナードのサステナビリティへの取り組みを 一台のノートパソコンで	14	「社会貢献のためのテクノロジー」で ソーシャル セクターを変革	22		
				一人ひとりの意見を大切に：社内で業界で インクルージョン&ダイバーシティを推進	23		
				従業員ネットワークで、インクルージョン& ダイバーシティを実践	24		
				従業員のウェルビーイングへの取り組み	25		
				より包括的で公正なビジネス環境を創出： アバナードと Prosperity Now で、 人種的、経済的な格差を解消	26		

「責任あるビジネス」 担当者からの メッセージ



Innes Grant,
アバナード
ESG 兼「責任あるビジネス」
担当エグゼクティブ

2023年、人工知能の成長により、これまでとは全く異なる一面を見たと言えるでしょう。AI Copilotや生成AIの力で、人の生活やビジネスは変化し、かつてない変革の時代が到来しました。同時に、ウクライナで続く戦争、中東紛争、気候変動や自然災害まで、世界各地で相次いだ過酷な状況も乗り越えてきました。こういった要因のすべてが経済的、環境的なサステナビリティに焦点を当てることへの重要性を物語っています。

世界中でこういった状況や課題に取り組む中、アバナードの目標はこれまでと変わりなく、「従業員、お客様、地域社会に**真のヒューマン インパクトをもたらすこと**」です。

この目標の実現に不可欠なことは、取り組みのすべてに責任を持つことです。2023年のESG（環境・社会・ガバナンス）年次報告としてアバナードのコミットメントや、「責任ある企業」としての進捗をここに共有できることを嬉しく思います。

SSEリニューアブルズ、Anglian Water、Zabkaグループ、デューク・エナジー、Synagro、オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)を始めとする多くの組織で、技術インフラストラクチャにサステナビリティを組み込み、データの力を駆使して透明性のあるモニタリングと報告を行なえるよう支援しています。[グリーンソフトウェア財団](#)との連携では、更なるサステナビリティの目標達成を目指して、人材、基準、ツール、ベスト プラクティスについて、信頼できるエコシステムを構築しています。

また、企業市民活動にも引き続き重点を置いており、「デジタル テクノロジーで、誰もが活躍できる世界」の構築を目指して取り組みを続けています。2023年には、大学や非営利団体と協力して、若者や過小評価されてきた経験を持つ122万6千人に、ノート パソコン、メンター制度、デジタル スキルの学習機会を提供し、デジタル時代をリードする人材になれるよう支援しました。

アバナードの従業員は、トルコの地震被災者、ウクライナの戦争避難民、マウイ島の悲惨な山火事犠牲者への募金活動を行う傍らで、32,000時間以上をボランティア

活動に充て、個々の「大切にしたいこと」のために取り組み、記録的な数字を残しました。

多様な視点や人材がサステナブルな世界の構築に不可欠であるという理念に基づき、引き続きテクノロジー業界の模範となるような「インクルーシブで多様な企業」を目指してきた結果、2023年には、世界の各拠点でマイノリティ グループからの新規採用を2桁拡大し、男女間賃金の平等を100%達成することができました。

2015年以来、アバナードは世界各地の大学20校で400名を超える女性STEM奨学生を支援し、テクノロジー業界のジェンダー ギャップ軽減に努めてきました。また、[ソーシャル グッド](#)のためのテクノロジーを活用して、非営利団体のシステム全体に変化をもたらすことに焦点を当て、今後の経済で大きな役割を果たすであろう、今はまだ世に埋もれる起業家を支援するProsperity Nowのような非営利団体と共に活動しています。

そして、「Better Together」プログラムでは、お客様とタッグを組み、地域に良い変化をもたらすための取り組みも行っています。

アバナード「責任ある企業」としてのコミットメントは、「形式的な」デジタル倫理や責任あるAIの「プログラム」ではなく、AI変革をリードしてきたイノベーターとしての、社内や顧客企業での経験を活かし、倫理的に責任を持って展開してきたものです。

ESG目標についても意欲的に達成できたことで、フランスのエコバディスから「シルバー」評価を2年連続で獲得することができました。これは評価を受けた企業の中でも上位8%に入る実績です。

これまでの取り組みを誇らしく思うと同時に、更なる使命も認識しています。これまで以上に士気を高めて未来へと歩み、これからも従業員、お客様、地域社会と共に、より一層の持続可能な世界実現に向けて尽力して参ります。

責任ある企業としての アプローチ

国連SDGsに合わせたサステナビリティへの取り組み

アバナードでは、さらなる持続可能な未来に向けた世界的な枠組みである国連SDGsに基づき、ESGコミットメントと「責任あるビジネス」のための優先事項を策定しています。

環境、社会、組織へのポジティブな影響を最大化するために、最も関連性の高い8つの目標に合わせて取り組みを行っています。

それぞれのSDGsを指針として、お客様、従業員、非営利団体、パートナー企業との連携を緊密にし、「責任あるビジネス」への取り組み強化に尽力しています。



従業員の
ウェルビーイング



次世代を応援



官民連携 (PPP)



インクルージョン&
ダイバーシティ(I&D)



気候への持続可能な
ポジティブ アクション

アバナードのESG指標カテゴリー



環境
2030年までに
ネットゼロ排出を実現
デザインによるサステナビリティ



社会
人的資本
地域社会への影響



ガバナンス
コンプライアンス
データプライバシーとセキュリティ
透明性と開示

2023 年 ESG スコアカード



環境

2023年度目標 実績

気候目標:2030年までにネットゼロ排出を実現

2025年までにネットゼロ排出を実現 (アクセンチュアと連携)	2025年までにゼロ排出 25% 達成に向けて進捗の モニタリングと管理
------------------------------------	--

アバナード環境ポリシー*の導入	100%	96%
-----------------	------	-----

顧客エンゲージメントにおける 「デザインによるサステナビリティ」

アバナードのソリューションポートフォリオ 全体にサステナビリティを導入	25%	50%
--	-----	-----

お客様のESGコミットメント支援による 「責任あるビジネス」の目標促進	20件	21件
--	-----	-----

* 世界各国のアバナード、アクセンチュアの拠点で「アバナード環境ポリシー」を導入済みのオフィスの割合



社会

2023年度目標 実績

人的資本

女性雇用率	45%	43.4%
-------	-----	-------

女性のシニアリーダー登用率	25%	24.4%
---------------	-----	-------

マイノリティグループからディレクター 以上*の役職に登用された従業員の割合	26%	23.5%
--	-----	-------

インクルージョンスコア（従業員調査で インクルージョン指標に関する質問への 好意的な回答の割合）	80%	71%
--	-----	-----

従業員の健康とウェルビーイング（従業員 調査でウェルビーイング指標に関する 質問への好意的な回答の割合）	71%	76%
--	-----	-----

地域社会への貢献

若年/マイノリティ層の起業家支援 (若い世代や過小評価されてきた人に デジタル時代への対応を支援した人数)	125万人	122万6千人
---	-------	---------

ボランティア目標を達成した従業員の割合	20%	23%
---------------------	-----	-----

地域社会への投資	500万ドル	600万ドル
----------	--------	--------

* 「ディレクター以上」には、事業のリーダーシップを形成するディレクター、シニアディレクター、幹部役員が含まれます。



ガバナンス

2023年度目標 実績

コンプライアンス

倫理/コンプライアンス研修 (適宜完了できている従業員の割合)	100%	99%
------------------------------------	------	-----

データ プライバシーとセキュリティ

データ プライバシーとセキュリティ	ISO/IEC 27001、 27701の維持	管理 / 維持
-------------------	-------------------------------	---------

透明性と開示

国連SDGsへの準拠 - (国連グローバルインパクトへの貢献)	維持	維持
------------------------------------	----	----

エコバディ認定	シルバー	シルバー
---------	------	------

サステナビリティへの取り組み
お客様事例

SSE リニューアブルズの 「じぶんごと」は サステナブルな イノベーションを 推進すること

SSE リニューアブルズ は、責任ある風力発電所の設置に向けた、誠実な情報開示、適切な沖合資産の評価、作業員へのサポートを強化するために、生態系に特化したデジタル ツイン コンセプトを取り入れ、AIを活用した生物種認識やモニタリング調査を行うなど、デジタル ソリューションを活用しています。

こういったツールは、ツノメドリの個体数やサケの回遊などについて、より正確に状況を把握することができ、野生動物の保護や生態系の改善に貢献できるよう設計されています。



従業員、お客様、 パートナー企業で 協力して、サステナブルな 世界を実現

「社内とお客様、どちらにも、
他の変革と同様に、サステナビリティへの
アプローチを提案しています。
終着点でなく、成長を続けていくことに
焦点を当てるのです。」

Jillian Moore

アバナード アドバイザリー グローバル リード兼
サステナビリティ エグゼクティブ スポンサー



環境的なサステナビリティへの取り組み

次世代の繁栄を実現させるために持続可能な世界を作り上げるには、全員が一丸となって取り組んでいかねばなりません。そのためにアバナードでは、社内だけでなく、お客様やパートナーにも、サステナビリティへの包括的なアプローチを採用しています。

2023年、アバナードは環境サステナビリティ ポリシーの遵守を96%達成し、ほぼすべての拠点で、二酸化炭素排出量削減につながる運営、通勤方法、テクノロジー リサイクルを実践しています。

また、[グリーンソフトウェア財団](#)とのパートナーシップを継続的に推進し、環境にやさしいソフトウェアのための、人材、基準、ツールベスト プラクティスについて、信頼のおけるエコシステムを構築しています。2023年には1000名近くの従業員がグリーン ソフトウェア認定を取得し、お客様との関わり方や、ソリューション、サービスのポートフォリオ全体に「デザインによるサステナビリティ」を浸透させています。こういった認定は、ソフトウェアの脱炭素化やサステナビリティへの取り組みをけん引していくための集約的能力の強化につながる、実用的なツールやリソースとして役に立ちます。

また、親会社であるアクセンチュアとも連携を緊密に行ない、その主要目標である「2025年までにネット ゼロ排出達成」に向けて、必要なデータ ポイントを作成し、アバナードの進捗状況を常に把握しています。



ISO 14001 認証
ほぼすべての拠点で
達成



96% 達成
アバナード環境方針



995名が取得
グリーンソフトウェア
認定



**2025年までに
ネットゼロ排出達成**
(アクセンチュア
と連携)



行動で示す： 環境サステナビリティへの取り組み

世界中にいるアバナードのプロフェッショナル6万人が、真のヒューマン インパクトを与えるために、ボランティア活動、草の根環境プログラムやイベントへの参加を通じて、サステナビリティへの取り組みに尽力しています。

アバナードは2023年、「Green Forward Program」を立ち上げ、従業員が、それぞれの地域社会で行える、環境のためのボランティア活動を紹介するプラットフォームを提供しています。これは、国連SDGsの気候変動アクション13.3「気候変動の緩和、適応、影響軽減および早期警戒に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善」に則したものです。

さらに、ブラジル、日本、ポーランド、オランダ、米国では、従業員自身が環境サステナビリティに焦点を当て、広範囲に活動を取りまとめています。スイスのデジタル クリーンアップ、ブラジルの製品再利用や堆肥作りの促進、オーストラリアの植樹を活動、日本、米国、ブラジルではアース アワー参加への呼びかけなどは、参加者自らがイベントを企画しました。

またヨーロッパでは、さまざまな活動に取り組む「グリーン ウィーク」を企画し、清掃活動、低炭素ビュッフェ、種子市場、自転車ワークショップに加え、ウェビナーも開催し、エコデザインでソフトウェアのカーボン排出量を軽減する方法や、産業プロセス内のカーボン排出量削減のためのデジタルテクノロジー活用法を紹介しました。米国、英国、オーストラリアで開催した「サステナブル アワー」というワークショップでは、「デザイン思考方法論」の授業を提供し、若い世代が家庭や、学校、地域社会でサステナビリティについての課題に取り組むための支援も行いました。



お客様の サステナビリティを よりスマートな 実践でサポート

あらゆるDXプログラムにサステナビリティを取り入れ、目に見える影響を実現

世界中の企業が、業務の効率性や生産性の強化だけでなく、サステナビリティの課題にも測定できる形での進捗管理を目指し、デジタルテクノロジーへの投資の使い方を探求しています。

お客様の目標が仕事の未来を再構築することであれ、クラウド化への取り組みを最大限に活用することであれ、アバナードはサステナブルな視点を持って向き合います。

マイクロソフトのテクノロジーエコシステムを活用したうえで、サステナビリティへの取り組みに最も効果の高い方法を適用させ、ESG目標の進捗状況をお客様自身が測定できる環境を整えるので、従業員、顧客、地域社会に、より透明性を持って報告することができます。サステナビリティの実現は企業のデジタル投資があっただけだと、アバナードは考えています。その目標の達成に向けて、デジタルテクノロジー、データ、AIを活用した革新に継続して取り組みCo2排出量削減と循環戦略の推進をサポートしています。

サステナビリティ推進の成功事例としては、「アバナードCloud Impactツール」の活用があります。インサイト主導の提案により、Azure上でコストを最適化することができ、結果として、エネルギーの節約やCo2排出量の効率化につなげることができます。

「デジタルテクノロジーには、組織の変革も、サステナビリティの目標達成も支援できる力があると、アバナードは考えます。この取り組みを通して、サステナビリティの価値実現が適うよう尽力しています。」

Miranda Hill

アバナード

サステナビリティ推進担当エグゼクティブ



サステナビリティへの取り組み
お客様事例

Anglian Water の 「じぶんごと」は デジタル ツインと AI テクノロジーで きれいな水を 提供すること



アバナードは、Anglian Water、マイクロソフトと連携して、[Microsoft Azure](#) をプラットフォームとして用いた、世界初のエコロジカル [デジタル ツイン](#) の試験運用を、スティフキー川のチョーク ストリーム(石灰岩地帯を流れる川)で行なっています。

目的は、世界に300ほどしかないチョーク ストリームの一つである、スティフキー川の生物多様性の保護です。このソリューションでは、データを複数のソースに接続したスタック(データを一元化するための蓄積システム)に統合して、集水区域の空間地図をデジタル モデル化で表し、因と結果を確認することができるものです。その後、AIでモデルを経由したデータのシミュレーションを実行します。

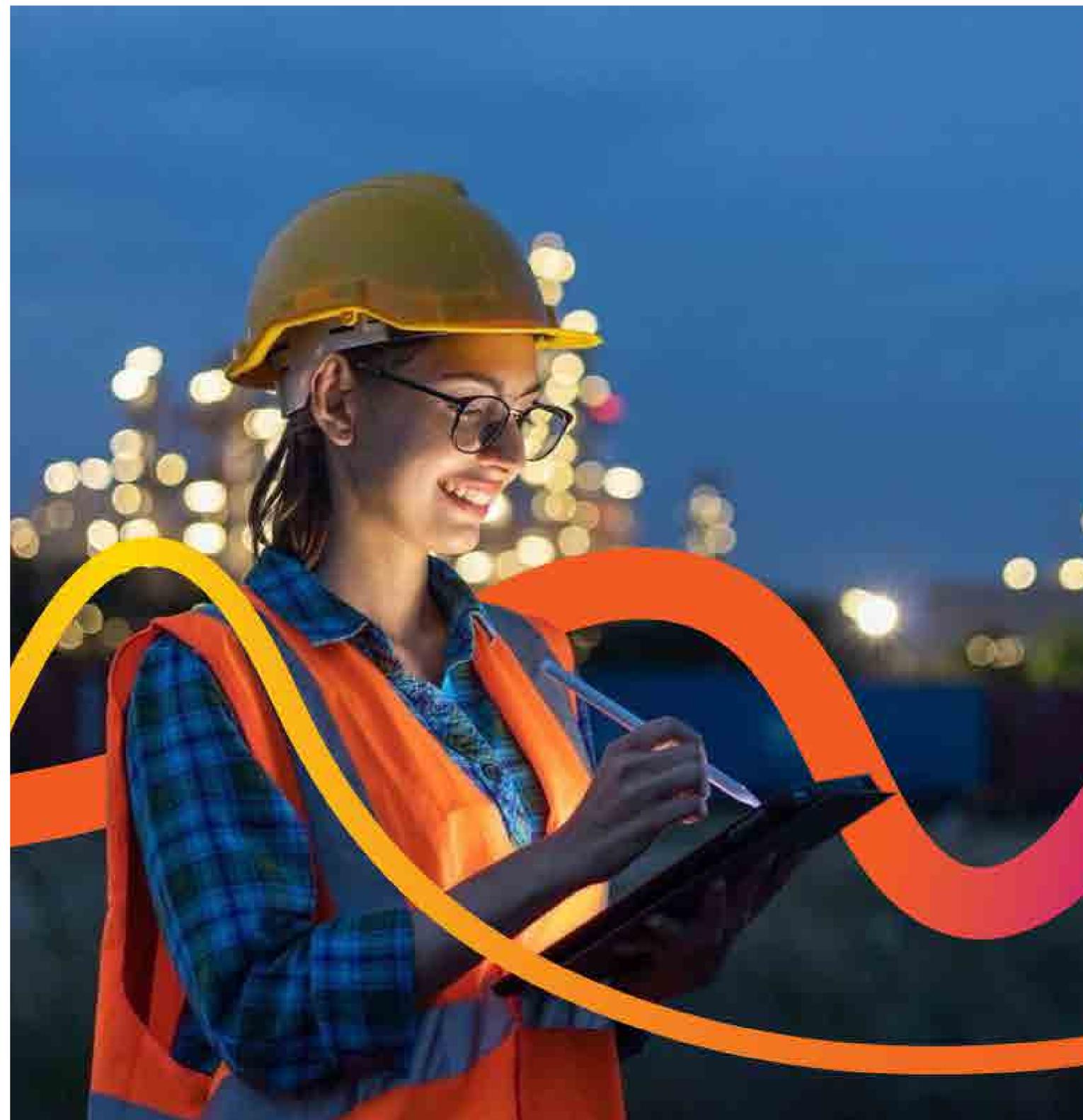
いまでは、Anglian Waterはスティフキー川の生態系や歴史を、より深く理解しています。全てのデータを1か所に集約することで、河川環境を健全に保ち、地域の人々にきれいな水を供給することができるのです。

「現在は、新たなソリューションで河川環境の改善に努めており、日々、オペレーション部門で資産管理を行う同僚に重宝されています。より安価に、より効果的に、そしてより少ないカーボン フットプリントで実行できるようになりました。」

– Anglian Water
集水 / 生物多様性担当マネージャー
Chris Gerrard 氏

サステナビリティへの取り組み
お客様事例

デューク・エナジーの 先駆的なメタン排出 プログラムの開発に アクセンチュアと アバナードが協力



米国で最大手のエネルギー企業であるデューク・エナジーは、天然ガス公益事業で2030年までにメタン排出量ネットゼロ達成という、意欲的な目標を掲げています。そのためには、業界のこれまでのやり方以上のものが求められていました。それは、メタン排出量を推定するための計算や、潜在的な漏洩を検知、監視するために定期的に行う、物理的な検査の活用です。

漏れの検出、排出ガスの測定、迅速な修復、予防知保全の土台となるより厳格なエンド ツー エンドのアプローチを求めて、デューク・エナジーは、アクセンチュア、アバナード、マイクロソフトと連携し、テクノロジーへの豊かな専門知識を活用しも目標達成に挑み、業界初となるメタン排出のモニタリングと修復ソリューションを、Microsoft AzureとDynamics 365上に開発しました。

「このプラットフォームは、地元天然ガス業者のメタン排出量計算、漏洩調査、漏洩修復の効率性強化を再設計することになるでしょう。結果として、メタン排出量を大幅に軽減することができます。」

— デューク・エナジー 天然ガス部門
シニア バイス プレジデント 兼 COO
Brian Weisker 氏

サステナビリティへの取り組み
お客様事例

お客様のデジタル 投資を最適化して サステナビリティの 目標を推進

Zabkaグループの「じぶんごと」は、 脱炭素化に向けて目標を達成すること

ポーランドの大手コンビニエンスストアチェーンを展開するZabkaは、詳細なCo2調査報告を行い、ESG年次報告でも幅広い取り組みを紹介する企業ですが、カーボンフットプリントについて、より詳細な分析とモニタリングを必要とし、包括的なESGデータ管理システムを模索していました。

そこでアバナードは、カーボンフットプリントの測定と分析を可能にする、Microsoft Sustainability Managerを組み込んだ単一のデータ収集アプリケーションを開発し、レポートの作成方法をカスタマイズして意思決定の改善をサポートしました。このソリューションで、Zabkaは目標の達成状況を迅速にモニタリングできるようになり、より高度なビジネス要件の実現に向けて、必要なカスタマイズ機能も備えることができました。

[さらに詳しく](#)

Synagroの「より環境に優しい世界」の ための計画

地方自治体の顧客に、より良いサービスを提供するために、Synagroは、業務体系全体のCo2排出量を、さらに詳しく把握する必要がありました。

複数のソースから大量のデータを取り込み、複雑なモデリングを定期的に行うことができる自動化ソリューションを探していたSynagroは、Microsoft Sustainability Manager (MSM)で、その価値を最大限に引き出すために、アバナードに依頼しました。

[さらに詳しく](#)

CSIROの「じぶんごと」は、データの 可視化スピードの向上と、気候変動 対策をよりスムーズに行うこと

「責任あるビジネス」で、環境を守り、投資を活かせる倫理的な意思決定を行うには、信頼性が高く、入手しやすいデータが必要となります。

オーストラリアでは、連邦科学産業研究機関(CSIRO)が気候研究、データサイエンス、モデリングに精通する政府機関として、主に利用されています。政府機関のリソースを活用することで、企業は気候変動の影響をより深く理解し、リスクを管理、軽減することができます。

アバナードは、初の試みとして、企業向けのClimate Intelligence Platform (CIP) を構築し、CSIROが具体的な対策案を講じるまでの時間を大幅に短縮できるよう支援しました。Microsoft Azureをベースにしたこのプラットフォームの機能は、すべて市場調査に基づいて構築され、フィードバックによって改善されています。

[さらに詳しく](#)

アバナードの サステナビリティへの 取り組みはクラウドと 一台のノートパソコンで

「企業の成長と共に、二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献してきました。これは、お客様にお勧めしているサステナブルなソフトウェアやベストプラクティスに、アバナードも投資をしてきた成果です。」

Ron White
アバナード 最高情報責任者



クラウドの最適化をサステナブルに達成

親会社であるアクセンチュアと連携したクラウドの最適化で、ビジネスの需要により素早く対応できたことが、環境へのインパクトを大幅に軽減することにつながりました。現在、アバナードのアプリケーションは、100%プラットフォームエコノミーで提供しています。

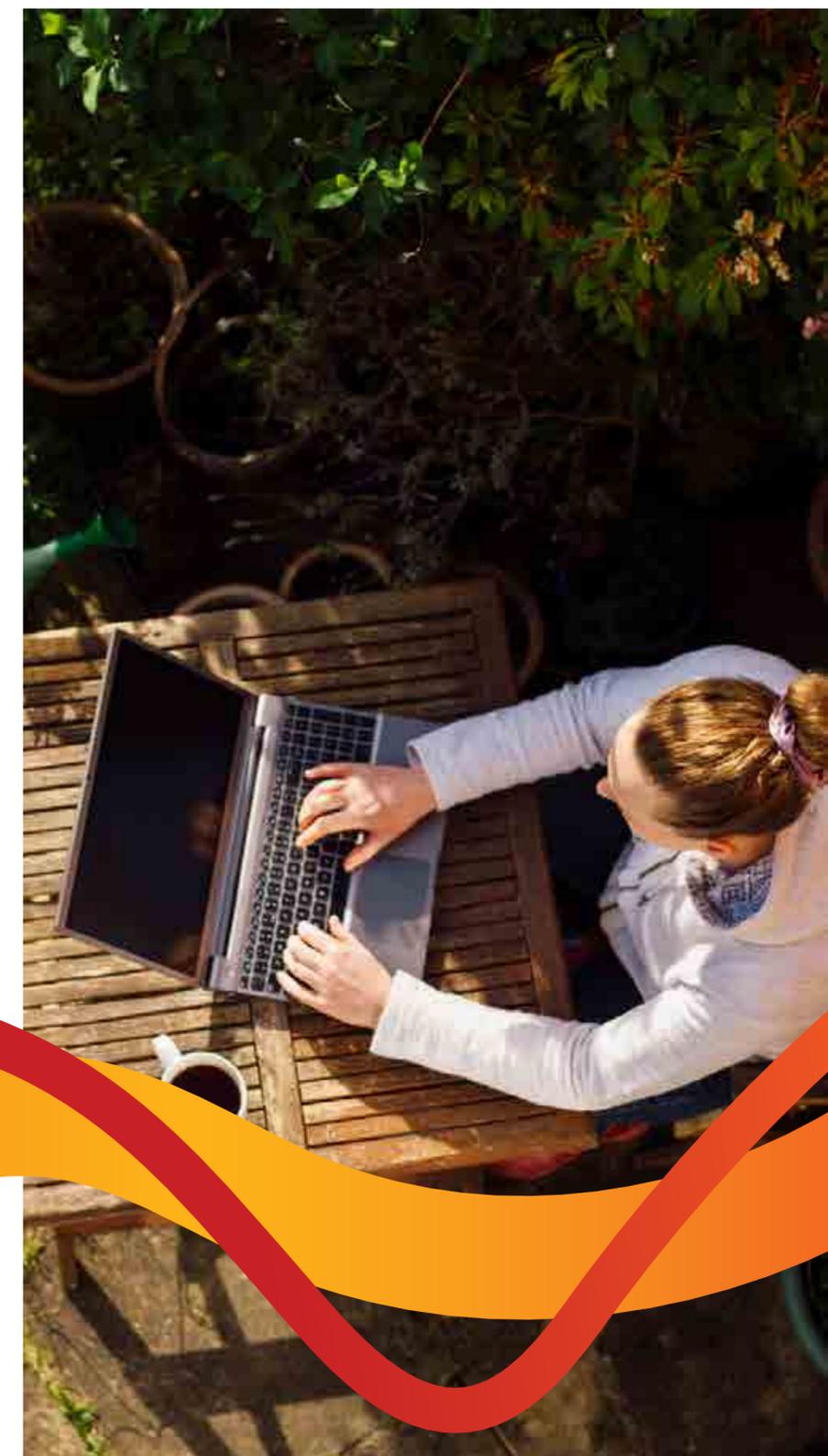
責任ある資産廃棄と、支援を必要とする女性や子供たちへのサポートを両立

アバナードの資産廃棄プロセスは、セキュリティとサステナビリティの両方に焦点を当てて行います。IT部門では非営利のノートパソコン廃棄業者と提携し、不要になったワークステーションやコンピューターのアクセサリを処分しています。廃棄処分に送る前には、安全策として、ITチームがすべての機器にBitLockerなどの暗号化を施し、安心安全なデータ廃棄を心がけています。

米国のみですが、アバナードではインターコネクションズと提携して、2023年には、1,451台のノートパソコンを寄贈し、若い世代が、デジタルテクノロジーに触れる機会を提供しました。ブラジルでは複数のベンダーと協力して、1,233台のノートパソコンをリサイクルし、そのうち129台を必要な方々に寄贈しました。

さらに、エグゼクティブ・ウィメンズ・フォーラムと提携して、強制退去による移動中で、自身のパソコンにアクセスすることが難しい女性グループにノートパソコンを寄贈し、新たな場所でも安全に、教育やキャリアを継続できるようサポートしました。

2023年、アバナードは世界に向けて、理念を同じくする非営利組織に6,000台以上のノートパソコンを寄贈しました。



若い世代、 過小評価されてきた 地域、地球環境に、 企業市民活動で サステナブルな インパクトを

STEM 奨学金から人道支援まで、次世代テクノロジー産業のイノベーターに新たな息吹を

アバナードの企業市民活動では、若い世代、過小評価されてきた地域、地球環境に持続可能な影響を与えることを目指し、4つの取り組みを行っています。

- **パートナー企業と協力して、過小評価されてきた若い世代に、デジタル時代に向けた支援を提供**：研修、メンター制度、イベント、インターンシップ、経済支援、アバナードSTEMプログラムで、若い世代に幅広い経験の場を提供
- **起業家への支援**：過小評価されてきた地域の方が、ビジネスを構築して、未来の新しい経済で活躍できるような機会を創出
- **地球環境のためのサステナビリティを強化**：エコシステム全体について意識の改善、教育、方針、行動を実践
- **さまざまな方法で、従業員に「恩返し」の場を提供**：250ドルのマッチングファンド、従業員一人当たり8時間のボランティア活動時間など、「Avanade Gives」のような取り組み

2023年、アバナードの企業市民活動プログラムは新たな高みに達しました。支援した若者の人数は過去の記録を更新、従業員のボランティア参加時間数は過去最長を達成、世界中の人道支援活動のマッチングファンドで集まった寄付金額は過去最高を記録、将来的に必須となるテクノロジースキルを学びたい若者の取り組みを、これまで以上に沢山サポートすることができました。



「アバナードの企業市民プログラムは、人や働く場所への、真の心配りと思いやりから生まれました。将来のビジネスやテクノロジーリーダーを育成することで、役に立てたらと思います。」

Heba Ramzy

アバナード 企業市民活動部門エグゼクティブ



2023 年 アバナード企業市民活動の実績



インクルーシブで 多様性のある文化の構築

48%

女性役員の登用率

14

マイノリティグループに
焦点を当てた従業員ネットワークの数



ソーシャル セクターへの 改革支援

75 以上

非営利団体の支援件数
(ソーシャル グッドのためのテクノロジー利用)

5

プロボノで支援した非営利団体



才能の発掘

1.226 億件以上

デジタル時代への対応を支援

7

(公社)ジュニア・アチーブメントの役員を
兼ねるアバナード役員の数

グローバル テクノロジー パートナー
世界のジュニア・アチーブメント

350 人以上

STEM 奨学生とメンター制度利用者

20 人

大学に在学中の STEM 奨学生で
メンター制度利用者

27 人

アバナードに就職した元 STEM 奨学生

14,305 人

23 年度にパソコンへの
アクセスを支援した若者の数



地域への投資

32,524

23 年度の従業員ボランティア参加時間数

2,567 人

ボランティア活動に参加した従業員数

6

23 年度に開催した
グローバル支援キャンペーンの件数
(パキスタン、ハリケーン・イアン、トルコ地震、
アース デイ、ホリデー キャンペーン、
マウイ山火事)

600 万ドル

23 年度の寄付額 (現金・現物)

146

市民活動の受賞者数

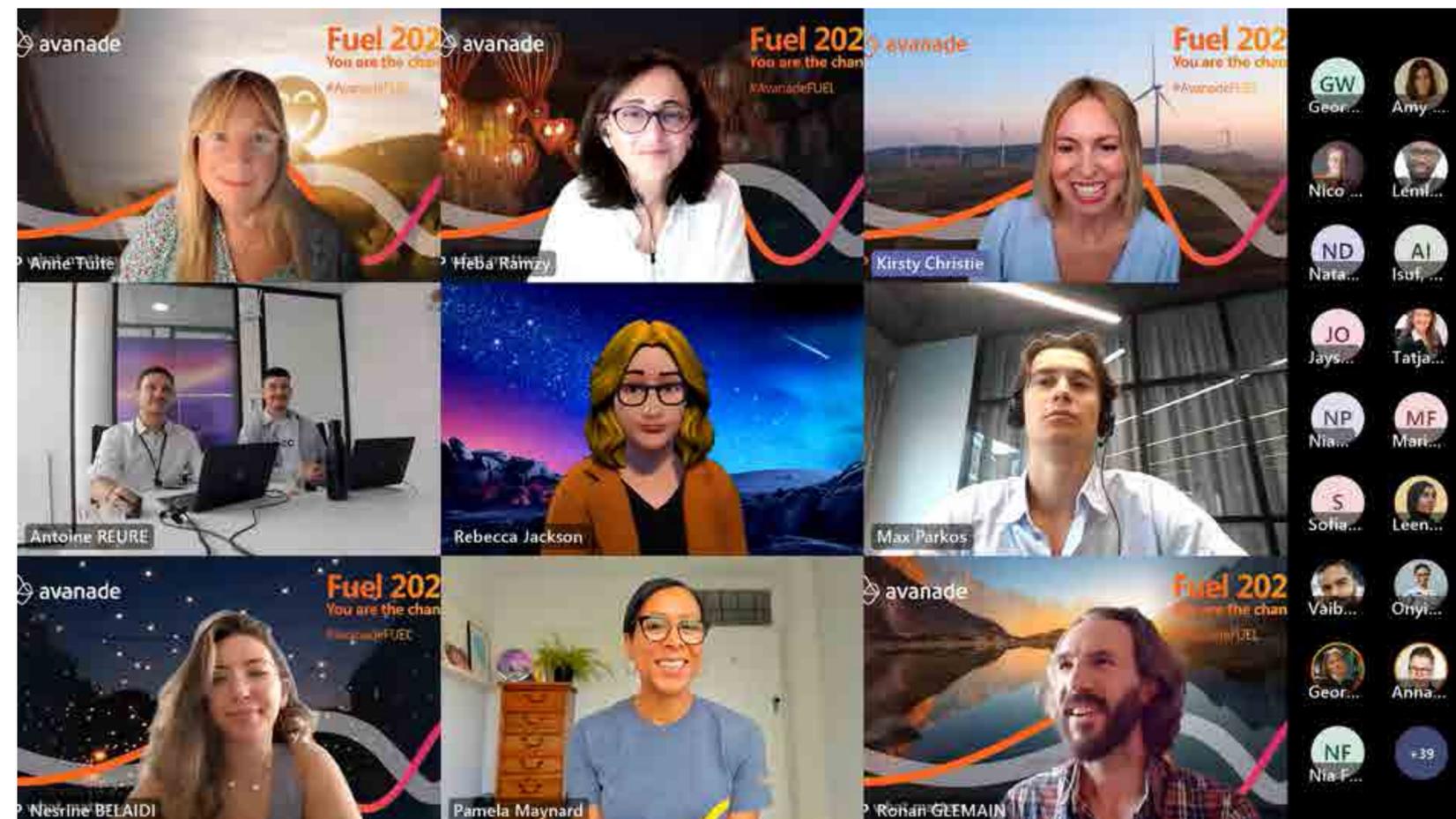
過小評価されてきた 世界中の若者の 成長と革新的な アイデアを応援

アバナードの企業市民活動の理念は、若い世代や過小評価されてきた地域に持続可能な支援を行うことです。

この理念の達成に向けて、アバナードではパートナーと連携して、研修、メンター制度、イベント、STEM 奨学金などを提供し、過小評価されてきた若者がデジタル時代に対応できるよう支援しています。

その代表例として、アバナードが毎年開催している「FUEL：イノベーション リーダーシップ テクノロジー コンファレンス」があります。STEM奨学生、インターン、若者へ、イノベーター、テクノロジーの専門家、企業経営者たちとの接点を提供し、未来への意欲を育む、将来のネットワークづくりを支援しています。このプログラムの主な目的は、アバナードのメンターとつながり、ハッカソンを通して実際にテクノロジーを体験してもらうことにあります。これにより、参加者は、サステナビリティの課題を通してクリティカルシンキングや問題解決の方法を学ぶことができます。

アバナードとCal Poly Pomona 大学経営学部が協力して、2019年に立ち上げられたFUELコンファレンスは、2023年に5回目を迎えて、参加者数は過去最多を記録し、3つの異なるタイムゾーンで4日間のバーチャル会議を開催しました。



Fuel 2023 – 今年あった新しい出来事

750+

参加者 50%増加 (STEM 奨学生、インターン、今年度の新たな参加者)：アバナード従業員は学生 (15-18 歳) 50名を担当

200 以上

大学、団体、チャリティ パートナー、アバナード 社内表彰者を含む パネル エキスパート

3

複数のタイム ゾーンで開催：北米、カナダ、ブラジル、欧州、東南アジア、日本、オーストラリアなど、23 カ国

2

ハッカソンのテーマ：ネットゼロへの取り組み、AIファーストの世界

パートナーと協力して 影響力を強化

ジュニア・アチーブメント + アバナード = 若い世代のデジタル時代を応援

インクルーシブな社会、教育、起業精神は、誰もが自身の能力や発言で、インパクトを与えることができるサステナブルな世界には、欠かせない要素だと、アバナードは考えています。

ジュニア・アチーブメント (JA) とのパートナーシップでは、デジタル時代に向けて、若い世代のスキル形成を支援するために、実践的な行動を起こすことを使命としており、2016年に開始以来、協力関係、影響力共に、年々強化されています。

2023年、支援プログラムで焦点を当てたことは、「未来のビジネス リーダー」について、テクノロジー、リーダーシップ、起業家精神、さらには自分自身との向き合い方について伝えることでした。

国境を越えたこの技術支援で、アバナードは、専門知識、リソース、スキルを活かし、JAがより多くの成果を達成できるようデジタル テクノロジーの力を駆使して、毎年開催されるヨーロッパの学生向け起業家フェスティバル「Gen-E」のサポートなどを支援しています。

今年トルコで開催されたGen-Eでは72,000人を超える参加者が集まる中、ノルウェーの大学生2名が立ち上げたOslo Atlantic社に「アバナード・デジタル・イノベーション・アワード」を授与しました。ウェブサイトの分析や最適化について、サステナブルなソリューションを提供するこの企業には、メンター制度でアバナードが指導を担当し、アイデアの開発や商業化をサポートしており、認定再生エネルギーを使用することで、Co2排出量の40%削減と、ウェブサイト パフォーマンスの80%向上を実現しています。

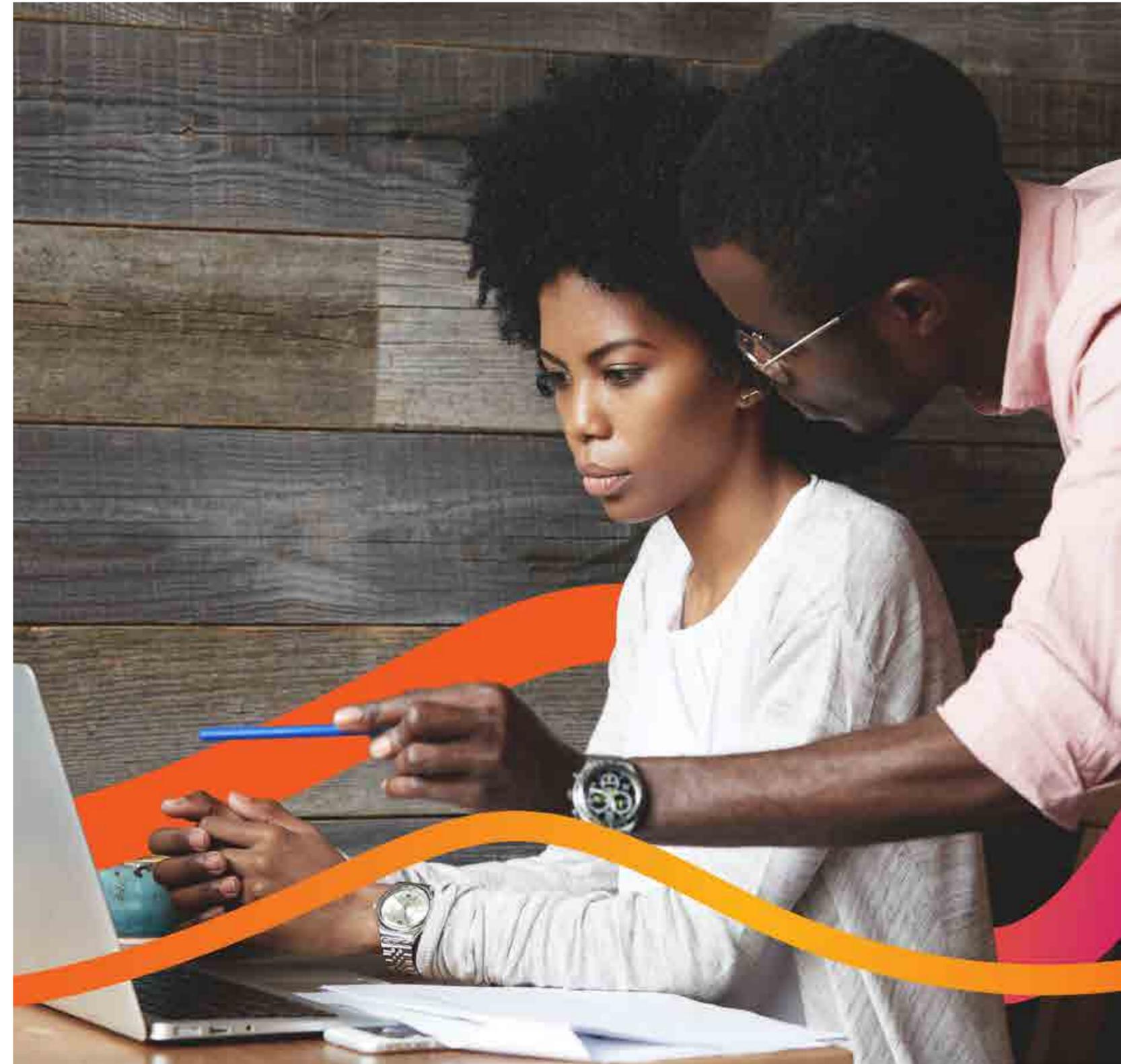


未来のテック業界を リードする白人以外の 女性を支援

テック業界が女性から好感をもたれにくいのは驚くことではありませんが、特に白人以外の女性から支持を得るのは困難と言わざるを得ません。テック業界に、よりインクルーシブで平等、そして多様な文化を形成していくためには、キャリア構築の初期段階で研究分野を選択中の若い女性を含む、優位性を複数取り入れたアプローチが不可欠です。過小評価されてきた多くの女性が、STEM分野のキャリアへ進もうとする際に障壁となる要因は共通しています。リソースとサポートの不足、そして業界のリーダーを実現可能な目標として捉えることができないためです。

創立15周年を迎えた2015年に、アバナードは、外部からの視点も取り入れた「特効薬」となるプログラムを立ち上げ、過小評価されてきた女性たちがSTEM分野へキャリアを進めるために必要とするリソースやサポートを提供しています。初年度は、世界各国から15名の女性に奨学金を提供し、STEM関連の研究を支援しました。それ以来、インターンシップ、奨学金、メンター制度、サポート ネットワークを通じて、400名を超える女性の修了とキャリア形成を支援し、現在では世界各国の大学20校とパートナーシップを結んでいます。

こういったSTEM奨学生の中には、アバナードに就職した人もあり、みな独自の視点や経験をチームに取り入れ、大切なお客様に革新をもたらすだけでなく、次世代の若い女性のロールモデルとしての役割も果たしてくれています。



真のヒューマン インパクトに向けて 活躍する従業員

恐ろしい自然災害や、戦争で故郷を追われた人々への支援から、若者や過小評価されてきた地域、地球環境への持続可能な取り組みまで、アバナードの60,000人のプロフェッショナルたちが、さまざまな想いを胸に活動を行っています。



32,524 時間：2023 年度に従業員がボランティア活動に参加した時間



2,567 人：ボランティア活動に参加した従業員



世界各国で開催した支援キャンペーン6件：
(2023 年度：パキスタン、ハリケーンイアン、トルコ地震、アース デイ キャンペーン、ホリデー キャンペーン、マウイ山火事)



寄付金合計：600 万ドル相当
(2023 年度：現金、品物)



146 人：市民活動の受賞者

みんなの協力で 世界をより良く

アバナードの「Better Together」プログラムでは、シカゴ連邦住宅金融銀行や AQA など、多くの企業と協力して、世界各国の地域単位で、さらなるインパクトの拡大を目指して活動に取り組んでいます。



AQA と協力して次世代の STEM プロフェッショナルを育成

STEM 教育はサステナビリティの推進には欠かせない要素ですが、STEM 分野で活躍できる優秀な人材を、マイノリティグループから発掘することは、テクノロジー業界で長年の課題となっていました。

そこでアバナードは、初期段階で STEM キャリアに関心を持ってもらうために、英国拠点の顧客企業 AQA と共同で「Friends of the Upminster Windmill」に通う 25 人の小学生を対象とした 1 日奉仕活動を企画し、サステナビリティと STEM がどのように結びついているのかを学習してもらいました。



「アバナードのボランティアの皆さんのおかげで、これまでにはない画期的なイベントを開催できたことを嬉しく思います。参加参加者はみな、子どもたちのやる気と対話の質に元気をもらいました。今後もまたイベント開催でご一緒できることを楽しみにしています。」

– AQA 技術評価担当ディレクター
Justin Coombs 氏



「社会貢献のためのテクノロジー」でソーシャルセクターの改革を目指して

アバナードが提供する「[ソーシャルグッドのためのテクノロジー](#)」は、デジタル変革に長年携わってきた専門知識を活かして、NPOやNGOがデジタルテクノロジーで社会に更なるインパクトを与えるお手伝いをします。

社会への貢献度を高めるために、マイクロソフト社のTech for Social Impactチームと協力して、団体のミッション達成に必要なスキル、テクノロジー、専門知識を結集させて支援を行います。

創設以来、「Avanade Tech for Social Goodプログラム」は、[ユニセフ](#)、[フェリックス・プロジェクト](#)、[SOS子どもの村](#)、[国際救済委員会\(IRC\)](#)など、75以上の団体で、最新の生成AIなどのデジタルテクノロジーで改革を支援してきました。

さらにアバナードでは、知的財産を共有可能な形で構築することを理念としており、これにより、お客様と共同で開発したソリューションが、より幅広いセクターで活用できるようになります。このアプローチなら、ソリューションを継続的に進化、構築、応用できるため、他の団体にも迅速に適用できるようになり、より素早く価値を実現することができます。

2018年にダブリンで開催されたNetHope サミットで初年度を迎えたTech for Social Goodプログラムは、2023年に5周年を迎えました。これを記念して、2023年にミュンヘンで開催されたNetHope グローバル サミットではスポンサーとして出席し、多くの称賛の言葉をいただきました。



「Project Harmony - より公正な世界を目指して、証拠管理の方法を改革」

2023年、アバナード、アクセンチュア、マイクロソフトは、国際刑事裁判所検察庁と協力して、新たな証拠管理プラットフォーム (Evidence Management Platform) の構築に向けて集結しました。[Project Harmony](#)と呼ばれるこのプロジェクトでは、効率的でインテリジェントな、安全性の高いプラットフォームを提供します。これまでは増加し続ける一方だった、複数の情報源から大量に保管されている、さまざまな形式の複雑な証拠の数々も、これにより、迅速で効率的に収集、保存、分析、検討が可能になります。

クラウド機能と人工知能を搭載するこのプラットフォームでは、迅速なパターン認識、自動翻訳、顔認識、画像補正、メディアファイルの翻訳、情報源の絞り込み検索、ビデオ/画像分析を提供し、情報をアップロードして処理できるよう、オンラインアクセシビリティを強化しているため、デジタルで迅速な証拠処理が可能となり、生産性を向上に導きます。

Project Harmonyは、法廷での成功率や、捜査、起訴の迅速性を高めるだけでなく、被害者や証言者への接点を拡大して、より効率的なリソースの活用を促し、連携を強化して、裁判の効率化を促進するでしょう。

Project Harmonyは国際司法の質を高め、より公正な世界を実現するために、証拠の管理方法を変革します。

一人ひとりの意見を大切に：社内と業界でインクルージョン&ダイバーシティを推進

「アバナードでは、インクルージョン、多様性、公平性を兼ね備えた環境を構築するために、組織全体として調和を重視したアプローチを取っています。こうしたウェルビーイングへの取り組みでは、建設的な変化を促すために、実践しやすい目標を設定しています。」

Hallam Sargeant

アバナード
最高インクルージョン&ダイバーシティ責任者



従業員とウェルビーイングを最優先に考えたインクルージョンで多様な文化の構築

マイクロソフトのプラットフォームで、世界をリードするイノベーターとして、アバナードは、「世界最大の課題を克服するには、皆の協力が必要不可欠であることを実感しています。話し合いの場が多様になるほど、気候変動、環境サステナビリティ、生成AIなどの新技術への応用アプローチも、より革新的なものにすることができます。

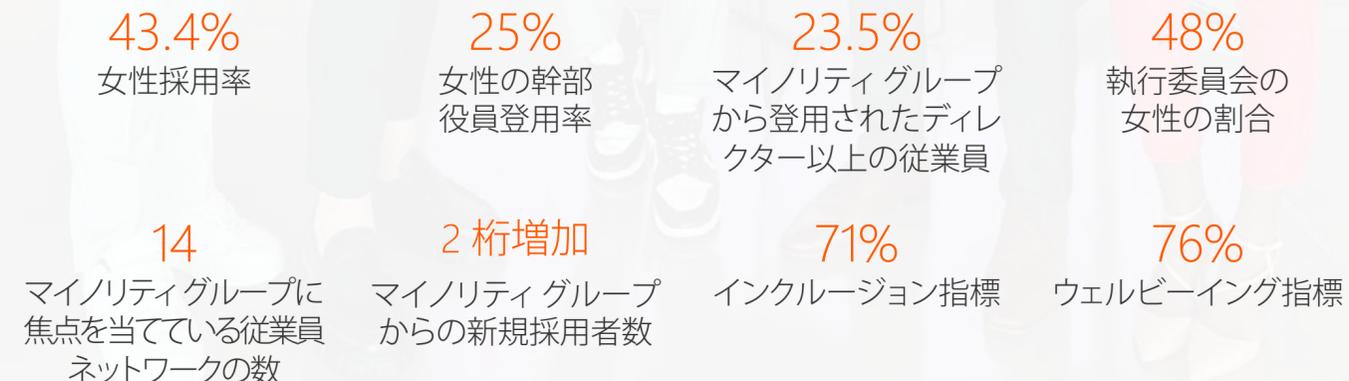
アバナードの「インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)」へのビジョンは、**表現力、文化、認知度**の3点を強化することに焦点を当てています。

ビジョンをおざなりにして、数字に気をとられるのではなく、ポリシー、プロセス、システムがうまく機能しているかについて、継続的によく確認していくことで、より公正な成果につなげていきたいと考えています。こういったプログラムを通して、単なる「女性幹部役員数の拡大」だけではなく、人種、民族、障害、性的指向、性自認にも焦点を当てるようになりました。また、自閉症リソースセンター、ColorinTech、Disability:IN、Out and Equalといった多くの外部組織と連携して、優先事項を戦略的に推進し、より多様な人材コミュニティへのアプローチと、包括的な企業文化の強化に取り組んでいます。

そして、誰もが安心して本来の自分のままで、ウェルビーイングを守っていけるような支援、提案、応援ができる場所を目指しています。アバナードは、2023年に初めて、従業員の調査の一環として、インクルージョンとウェルビーイングの指標を追跡し、そのデータを新しいプログラムや実行可能な改善方法の検討に役立てています。



2023年に達成した取り組み



従業員ネットワークで、 インクルージョン& ダイバーシティを実践

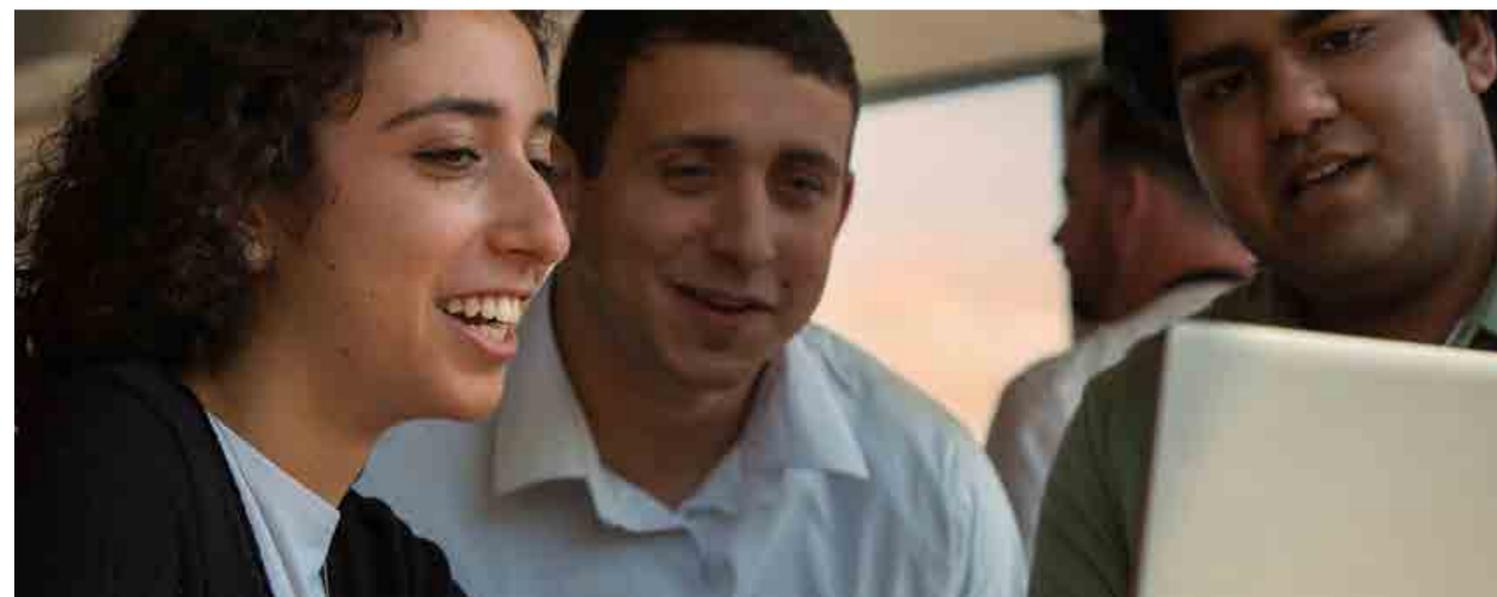
アバナードでは、多くの方法でインクルージョン & ダイバーシティ (I&D) に取り組んでいます。最も身近なものは「従業員ネットワーク」でしょう。14のネットワークが、一人ひとりの持つ独自の能力、視点、意見の拠り所となり、インクルーシブな文化や職場経験を支援しています。

アバナードでは、3,000人以上の従業員がいずれかのネットワークに参加しています。各ネットワークには執行役員をサポートがついており、身近の頼りになる味方としての役割を果たしています。

アバナードの従業員ネットワークでは、コミュニティを形成するだけでなく、年間を通して以下のようなプログラムやイベントを開催しています。

- **Prism** は、LGBTQ+ の従業員ネットワークで、10年以上にわたり、アバナードのプライド月間でのアバナードの取り組みを先頭で推進しています。
- **Women 従業員ネットワーク** では、国際女性デーのイベントを世界各国の拠点で数多く開催しています。
- **Veterans 従業員ネットワーク** では paws4vets が推進する Assistance Dog Placement Program (補助犬譲渡プログラム) で身体的、神経的、精神的、情緒的に障がいを抱える、退役軍人、兵士、やその家族に、障がい介助の訓練を受けた犬を提供するためのファンドレイジングを担当しています。

- **North America DiversAbility 従業員ネットワーク** では、ウェビナー シリーズとして「This is my story」を定期的で開催し、外見からはわかりづらい障害、多発性硬化症、ニューロダイバーシティなどについて、当事者の「知ってほしいこと」を紹介しています。
- **Adelante Latinx 従業員ネットワーク** では、2021年にメンター プログラムを立ち上げ、ヒスパニック文化遺産月間の一環として、ラテン文化や社会問題を啓発するイベントなど、年間を通して数多くのプログラムのサポートを行っています。
- **INSPIRE Black 従業員ネットワーク** では、アフリカ系アメリカ人歴史月間やジュンティーンズ (奴隷解放記念日) のイベント、昇進準備やインクルージョン、ダイバーシティ & ワークスペース系の社内情報を扱う、ポッドキャストでのインスパイア トークなど、年間を通して多くのプログラムを支援しています。

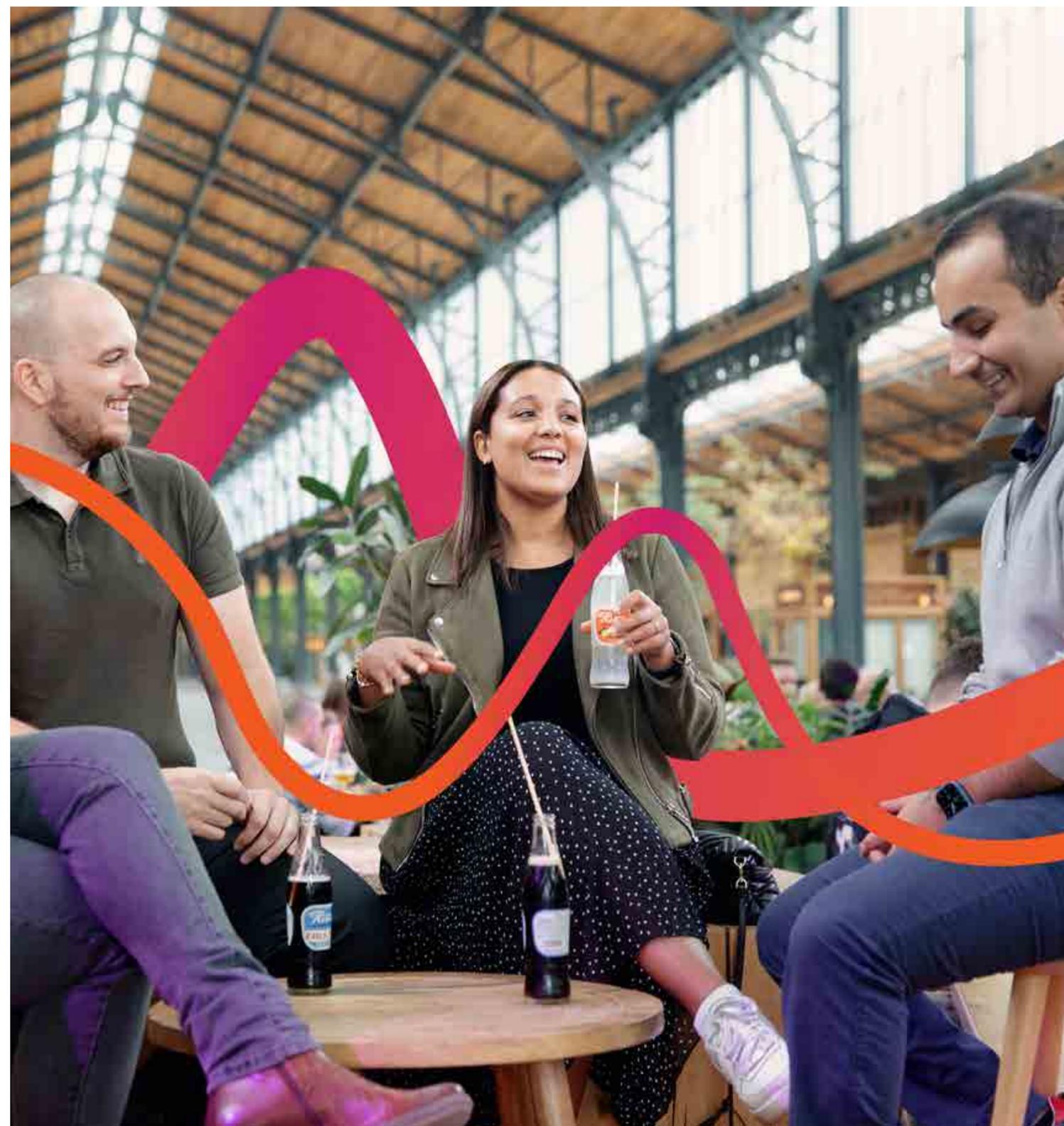


従業員の ウェルビーイングへの 取り組み

「ウェルビーイングとインクルージョン&ダイバーシティ(I&D)の両立できたとき、単なる従業員としてではない、その人自身を見ることができる職場を形成することができます。」

Emily Warren

アバナード
グローバル ウェルビーイング リード



アバナードでは、従業員が仕事に充実感を持ってベストを尽くせるよう、どの事業分野でも満足度の高い環境を構築していきたいと考えています。従業員には柔軟なワークプログラムを活用してもらい、これまでのスケジュール感などは気にせず、自身のワークスタイルや生活に合わせてもらえるよう、リーダーにはスコアカードの「ウェルビーイング指標」について責任を課しています。

2023年、アバナードのウェルビーイング戦略は、I&Dチームとの連携で、より統合的なアプローチへと進化しました。こうして協力することで、より多くの従業員と接点を持ち、インクルージョン、ウェルビーイング、帰属意識の交点を探ることができました。

今年目標の1つは、共感的で思いやりのあるリーダーシップの育成を強化することでした。「Winning with Well-being and Inclusion」というワークショップを7言語で開催し、リーダーたちがチーム内で高いウェルビーイングを構築できるような、実践的な方法を見つけ出すための支援を行い、気遣いのあるインクルーシブなコミュニケーションのためのツールを提供しています。

また、困難さや孤独など、さまざまな経験をもつ人たちのために、コミュニティの構築やつながりの強化も目指しており、今年ウェルビーイング関連のイベントには7,000人以上の参加者が集まりました。ストレス、障がい、がん、男性の健康、更年期障害などのテーマについて議論する場を設け、生活のあらゆる面でサポートを実感できる、偏見のない環境を促進します。2023年、こういった取り組みが評価され、アバナードのグローバルウェルビーイング部門でリードを務めるEmily Warren(エミリー・ウォーレン)が、ロンドンで開催されたInsideOutアワードで「ウェルビーイング リーダー 2023」を受賞したことはじめ、多くの賞によって認めいただきました。

より包括的で公正な ビジネス環境を創出： アバナードと Prosperity Nowで、 人種的な 経済格差を解消

アメリカを拠点に活動する人道支援NPO「Prosperity Now」とのパートナーシップを活かして、アバナードは、インパクトのある制度改革で、より公正な世界の構築を目指しています。特に、若い世代の黒人、先住民族、過小評価されてきた起業家などは、実力が伴っていても、経済面での支援や成長の機会を制限されており、このままでは、富の平等が達成されるまでに200～250年の歳月が必要となります。

このパートナーシップでは、次の3つの取り組みを行い、過小評価されてきた起業家がビジネスを維持、成長、拡大できるような支援を目指しています。

- **誰もが使いやすい新たな融資基準を構築** するために、アバナードは、米国地域開発金融機関(CDFI)分野のイノベーションに取り組んでいます。新たなアルゴリズムを構築し、組織の能力を拡大できるよう、体系的なプロセスを構築して、より公正な融資決定を実現します。金融テクノロジー企業と肩を並べる、テクノロジー主導のソリューションを備えることで、資金提供の機会をより多くの起業家へと拡大します。
- **Rise Challenge** では、過小評価されてきた起業家が、自身や地域のために富を構築できるようなエコシステムの実現を目指して、実践的で革新的な、変革のためのアイデアを創出できるよう、個人や団体に機会や奨励金を提供しています。こういったシステムの変化を通じて、より多くの起業家と接点を作れるよう、クラウドソーシングで集められたアイデアを活用して、実証実験に取り組んでいます。
- **アイデア マーケットプレイス** では、独自のプラットフォームで、過小評価されてきた起業家と支援者をつなぐネットワークを提供します。このハブにより、既存のプラットフォーム、リソース、情報を一元化して、起業家がビジネスを維持、拡大するために必要な資本、ビジネス サポート、その他のツール不足を補います。

「過小評価されてきた起業家が直面する最大の障壁は、リソース、信用、資本へのアクセスが不足していることです。テック業界でも数少ない黒人の女性CEOとして、互角の舞台で勝負することが、どれほどに困難なことか、よくわかっています。しかし、それが実現した時には、個人としても、仕事をするうえでも、どれほどに大きな変化を生み出すのかも、よく知っています。Prosperity Nowとのパートナーシップは、より包括的で多様な世界にしていくためにアバナードが実践できることのひとつです。」

Pam Maynard
アバナード 最高経営責任者



倫理、法令遵守、ガバナンスへの取り組み

「アバナードの取り組みは、全てにおいて、明確なガバナンス構造と揺るぎないビジネス倫理規定 (CoBE) に基づいています。これにより、誠実さ、透明性、包括性、皆を尊重する文化が育まれてきました。」

Amy Wright
アバナード 最高執行責任者



誠実さと敬意をもって「責任ある行動」を

責任ある企業として、アバナードは、企業文化に根付いた明確なビジネス倫理規定 (CoBE) に準じています。これは、日々の業務への取り組み方に即したポリシーに、組織の価値観や運営原則を反映させたものです。

この CoBE を土台にして、グローバルにも、各国の拠点毎にも適用できる倫理コンプライアンス プログラムを構築し、組織の腐敗防止対策、データ プライバシー、市場競争、貿易管理などの主要な項目について、研修、意見交換、情報共有を行っています。生成 AI などの先端技術の使用についても、組織が倫理を大切にすることで、所属の専門家やお客様も、倫理的で安全に使用できるよう尽力しています。

2023 年には、アバナード従業員の 99% が、倫理コンプライアンス研修を世界の各拠点で受講しました。



エコバディス – シルバー評価



「倫理コンプライアンス研修」
の受講率は 99%



2016 年より
UNGC (国連グローバル・コンパクト)
の署名企業



データ プライバシーと
セキュリティの維持

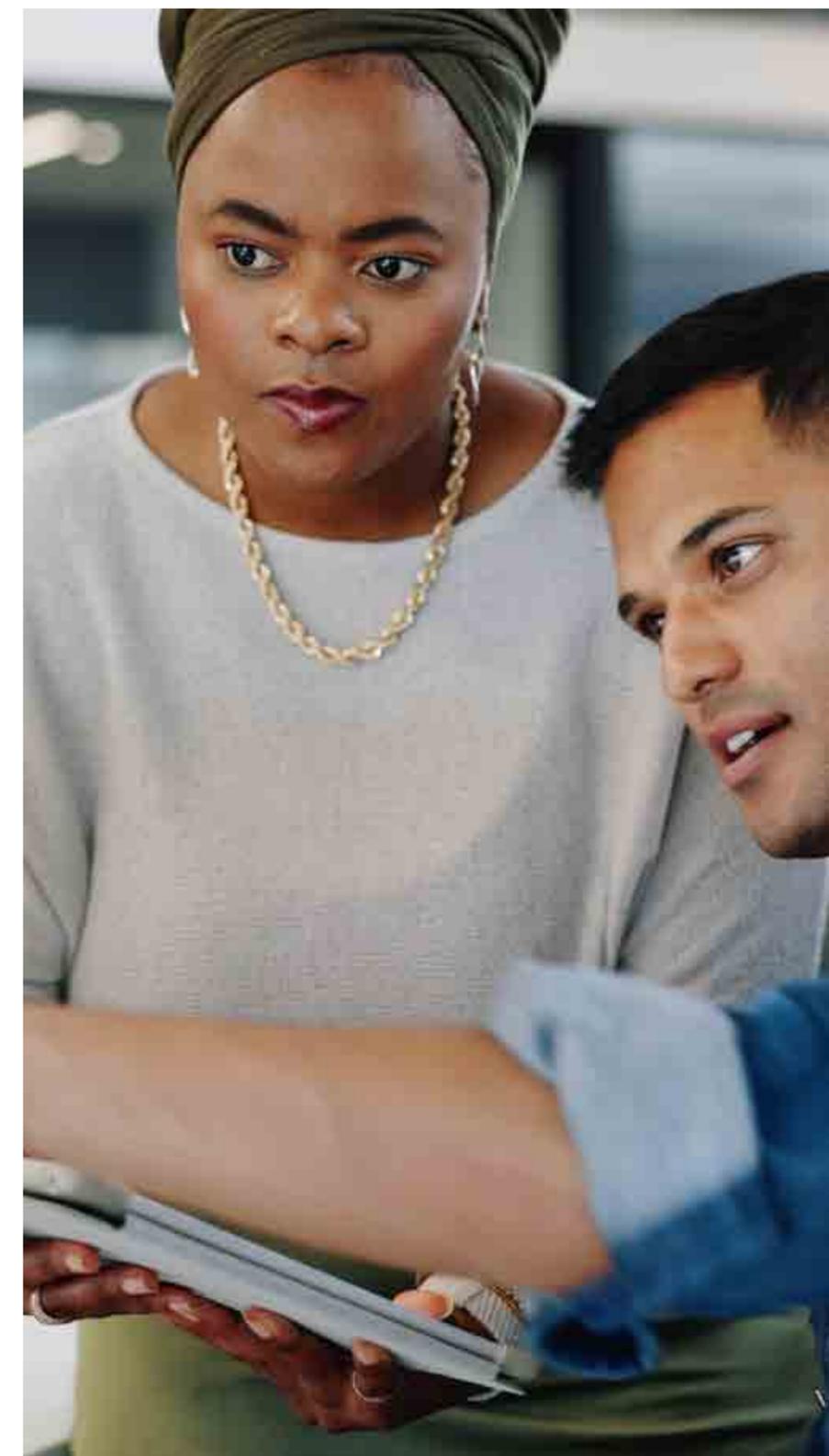
ISO/IEC 27001、27701 を取得



「School of AI」で
アバナード所属の専門家全員に
責任ある AI & 倫理について研修と
コンプライアンスプログラムを実施



「責任ある AI フレームワーク」
を構築し、社内、顧客企業、
パートナー企業に展開



AI とデジタル倫理の 責任ある推進

AI が巻き起こした変化の波には、産業を再定義し、経済成長の新時代を切り開く可能性が秘められています。そして、生成AIが副操縦士となり、全ての人にAIの力を授けた今、教育や医療の公平性、ジェンダーや人種の格差、気候変動といった世界、最大の課題に取り組めるほどにテクノロジーが人類の能力を最大限に引き出す、重要な瞬間を迎えています。

この可能性には多大な責任が伴います。AI ファーストの世界では、信頼性と透明性を確実に維持していかなければなりません。政府の規制導入は、テクノロジーの急速な発展に追いつくことが難しいため、これを率いる者には、倫理的な安全策を講じていく責任があります。アバナードでは、初代の最高AI責任者にフローリン・ローター (Florin Rotar) を任命し、倫理基準、プライバシー、社会的影響に焦点を絞り込んで、グローバルAI戦略を指揮しています。

長年にわたり、デジタル倫理のフレームワークを設定し、偏見、差別、情報セキュリティ、データプライバシー、サステナビリティ、社会的影響など、テクノロジーを使用する際のさまざまなことを考察してきましたが、ようやく、AIの影響も含めて、このフレームワークを更新することができました。アバナードは、引き続きこれを束ねて、フレームワークをポリシーに形式化するなど、マイクロソフトやアクセンチュアと協力して、倫理的な「責任あるAI (RAI)」を優先的に推進していくために取り組んでいきます。2023年、アバナードは初の「責任あるAIポリシー」を発効し、以下をAI導入に関する主な原則として設定しました。

- **人が主役の公平な環境**：偏りのないデータ セットを用いて、インクルーシブなチームを編成することで、不当な偏見や予期せぬ不利益が生じる可能性を軽減し、多様性、人権、サステナビリティへの目標を推進する
- **信頼性と透明性**：データ管理を「見える化」して、説明可能性、健全性、正確性を最大化し、AIによる成果物や意思決定について、明確に理解できるようにする
- **安心と安全**：安全性やプライバシーを強化し、セキュリティ バイ デザインを取り入れることで、データだけでなく、人の尊厳も保護したうえで、データの取得、整理、処理について責任を持つ
- **情報の開示と責任ある行動**：責任あるAIを取り入れ、データの取り扱いにも十分な配慮を重ね開示責任を全うし、トレーサビリティを確保して、モニタリングを継続的に行う

インターン生から経営幹部まで、アバナードでは全ての従業員がAIを理解し、責任を持って活用できるよう研修を実施しています。10月には「School of AI」という新たな研修ハブを立ち上げており、基礎的なAIリテラシーやプロンプト エンジニアリングなど、生成AIについて複数の学習コースを設けています。

「責任あるAIの使用とガバナンスは、倫理的な義務としてだけでなく、戦略的なメリットにもなります。AIのシステムをアバナードの価値観に合わせて、明確な意思決定を実現し、その影響に責任を持つことで、従業員、お客様、社会全体と信頼関係を築くことができるのです。責任あるAIは、制約ではなく、イノベーションや成長を促進するためのものです。AIファーストで人材ファーストを実現するための手段でもあります。」

Florin Rotar
アバナード 最高 AI 責任者



「責任あるビジネス」 2024年以降の取り組み

絶え間なく進化し続ける世界に合わせて、アバナードのESG報告へのアプローチも進化しています。各国の政府は規制監視を強化し、ESG目標への徹底した基準設定を進めています。一方で、継続的なAIの進歩と世界的な気候変動の差し迫る脅威に対応していくために、2024年以降、サステナビリティ、デジタル倫理、コンプライアンス、インクルージョン&ダイバーシティなどに細心の注意を払っていく必要があります。

2024年「責任あるビジネス」促進に向けた これからの取り組み

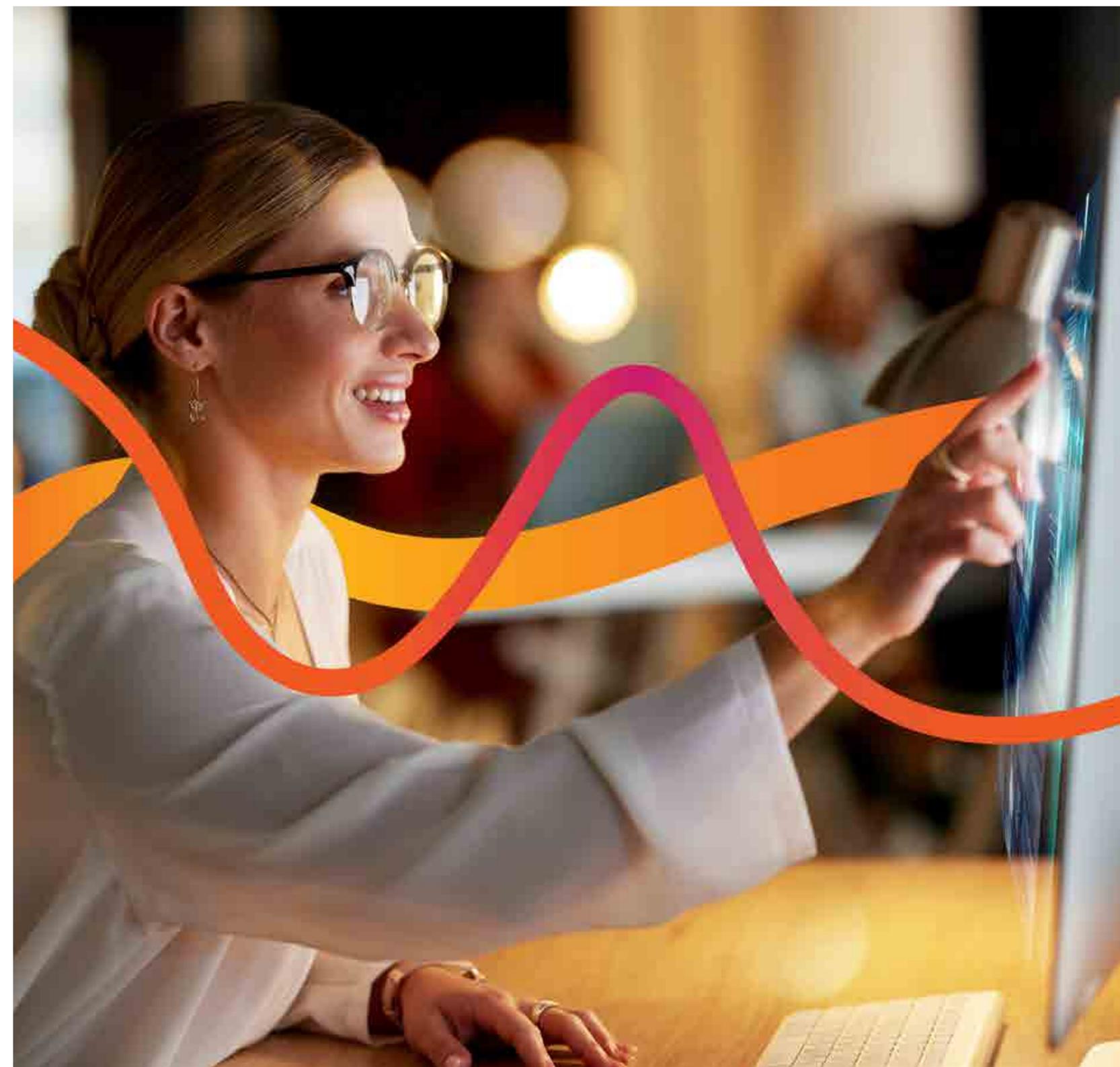
ESG評議委員会を設立 し、ESG および責任あるビジネス部門のリーダーであるイネス・グラント (Innes Grant) を中心に、社内コミュニケーション、ポリシー、運営に「責任のあるビジネス」の取り組みを浸透させる

お客様のESG目標達成 に向けて、ESG関連の市場規制を遵守するソリューションを提供する

アバナードの責任あるAI (RAI) フレームワークを強化 し、お客様のRAIフレームワークを構築する際にも、偏見、差別、情報セキュリティ、データ プライバシー、サステナビリティなどの課題に対応できるような支援を行う

電子廃棄物と顧客企業のKPI を、アバナードのメトリックとして、2024年度のESGスコアカードに含めることで、自社のサステナビリティ パフォーマンスとして「見える化」し、進捗を管理する

アバナードは、エコシステム パートナーと足並みを揃え、人の持てる力とマイクロソフトの技術を活かして、より輝く未来の構築を目指して尽力しています。この未来を目指すからこそ、責任あるビジネスへの取り組みを注意深く見直し、従業員、お客様、地域の「大切なこと (what matters)」の実現、に新たな可能性を見出すために全力で取り組んでいます。「正しき道を歩む」ことが、アバナードの企業としての軸となっています。



ESG スコアカード 2024



環境

2024 年度目標提案

気候目標；2030年までにネットゼロ排出を実現

2025 年末までにネットゼロ排出を実現 (アクセンチュアと連携)	24 年度にベース ラインを確立、 2025年までにネット ゼロを25%まで 推進
--------------------------------------	---

Green IT：責任のある電子廃棄物の処理	100%
------------------------	------

「サステナビリティ・バイ・デザイン」顧客エンゲージメント

「より環境にやさしいサービスとソリューション」の提供 (グリーンソフトウェア認証を取得したエンジニア/ ソフトウェア開発者の割合)	25%
---	-----



社会

2024 年度目標提案

人的資本

女性の入社率 (女性の新規採用率)	47%
-------------------	-----

女性の役員登用率 (ディレクター以上 *)	28%
-----------------------	-----

シニアリーダー登用率 (マイノリティグループ (人種、民族) から ディレクター以上 * の役職に登用された 従業員の割合) ※米国のみ	25%
---	-----

インクルージョン スコア (従業員調査で、インクルージョン指標に 関する質問への好意的な回答の割合)	75%
--	-----

従業員の健康とウェルビーイング スコア (従業員調査で、ウェルビーイング指標に 関する質問への好意的な回答の割合)	75%
---	-----

地域社会への貢献

若年 / マイノリティ層の起業家支援 (若い世代や過小評価されてきた地域で、 デジタル時代への対応を支援した人数)	125万人
---	-------

ボランティア活動 (活動目標を達成した従業員の割合)	20%
-------------------------------	-----

*「ディレクター以上」には、事業のリーダーシップを形成するディレクター、シニア ディレクター、幹部役員が含まれます。



ガバナンス

2024 年度目標提案

コンプライアンス

倫理コンプライアンス研修 (適宜完了できている従業員の割合)	99.5%
-----------------------------------	-------

データ プライバシーとセキュリティ

データ プライバシーとセキュリティ	以下の認証の 管理/維持 ISO/IEC27001:2013, ISO/IEC27701:2019
-------------------	--

透明性と開示

国連 SDGs への準拠 (国連グローバル コンパクト)	維持
------------------------------	----

エコバディス認証	シルバー
----------	------

アバナード株式会社

〒106-6009 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー

電話番号: 03-6234-0150

ウェブサイト: <https://www.avanade.com/ja-jp>

お問い合わせ: <https://www.avanade.com/ja-jp/contact>

アバナードについて

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムの力を活用し、革新的なデジタルおよびクラウドサービス、ビジネスソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを実現するリーディング プロバイダーです。世界26か国に6万人のプロフェッショナルを擁し、日々お客様企業とその従業員や顧客の皆様に真のヒューマン インパクトを与えています。

最も多くのマイクロソフト テクノロジー認定資格数 (60,000以上) と18分野でマイクロソフトGoldコンピテンシーを取得しており、企業の成長と最も困難な課題の解決を支援するうえで独自の立場にあります。

責任ある企業として持続可能な世界を構築し、過小評価されてきた地域の若者が能力を発揮できるよう支援しています。

アバナードは2000年にアクセンチュアLLPとマイクロソフトコーポレーションによって設立されました。

詳細については、www.avanade.comをご覧ください。

©2024 Avanade Inc.無断複写・転載を禁じます。Avanadeの名称およびロゴは、米国およびその他の国における登録商標です。

その他のブランド名および製品名は、各所有者の商標です。



Do what matters